

「相手の立場になって行動する子」を目指して

ながおか し りつしんじょうがっこう
長岡市立信条 小学校

信条 小学校では、「相手の立場になって行動する子」の育成を目指し、教育活動の中に異学年の友達や地域の方々と交流する活動を多く取り入れています。

日常の活動では、清掃や給食を縦割の「なかよし班」で行います。また、学校行事でも「弥彦山登山」や運動会の競技の中に「なかよし班」での活動を取り入れています。中でも子どもたちが楽しみにしているのは、児童会行事の「信条 子供まつり」です。「なかよし班」で積極的にアイデアを出し合い、他の班の人や保育園の子どもたち、地域の方々などのお客さんを楽しませる工夫を考えました。当日は、上学年の子が下学年の子に分かりやすく仕事のやり方を教えたり、ゲームの仕方を優しく説明したりする姿がたくさん見られました。また、学習では4年生が「総合的な学習の時間」で、

近くにある老人福祉施設を訪問し、高齢者の方々と交流をしました。一緒に歌を歌ったり、折り紙を折ったりしました。子どもたちは、「折り紙をほめてもらったり、教えてもらったりしてうれしかった」などいろいろなことを学んでいました。

こうした交流を通して、年齢を問わず相手の気持ちを考え、行動しようという気持ちが育っています。



一緒に折り紙を折っている様子

「広がる思いやりの心」

ながおか し りつしんじょうがっこう
長岡市立越路 小学校

越路小学校では、飼育・栽培活動を通して「生き物と進んで関わり、生き物を大切にしようとする気持ち」を育てています。

朝の児童玄関前の花壇では、日日草やマリーゴールド、メランポジウムなどの花々に水やりをする環境委員会の子どもたちに出会います。ジョウロいっぱい水を汲み、花の根元に丁寧に水をやっています。そばを通る低学年や中学年の児童に聞いてみると、「色々な色のお花があってきれい!」「私も水やりをしてみたい!」など嬉しい声が聞こえます。昼休みに、暑い中、黙々と雑草を抜く子どもたちに出会うこともあります。

これらの活動を通して、花々を大切に育てたり、みんなのために進んで活動したりする気持ちが育っています。

今年度は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、毎年行ってきた3年生の高齢

者施設訪問が中止となりました。コロナ禍に伴い学習活動の制約が続きますが、できることを精一杯行い、多くの子どもたちに思いやりの気持ちを育てていきます。



花に水やりをしている様子

「全校チョボラタイム」の実践

ながおか し りつしんじょうがっこう
長岡市立越路西 小学校

当校では、福祉教育の全体計画を作成し、「福祉活動を通じて、進んで人のために役立つ心と心を持って育てる」を重点目標に掲げ、様々な福祉活動に取り組んでいます。

具体的な取組として、毎週金曜日の2限終了時の休み時間に、JRC委員会の放送呼び掛けで全校ミニ奉仕活動として「全校チョボラタイム」を実施しています。曲が流れている約4分間に、自分で奉仕活動を決めて取り組んでいます。その時にJRC委員会は、分担して校舎を回るようにしています。

毎週金曜日に行っていることにより、活動が定着し、児童から「今日はチョボラタイムだよ」という言葉が聞かれるようになってきました。児童一人一人が自分で考え、その場で取り組めるごみ拾いや図書室の本の整理、清掃用具等の整頓などに取り組んでいます。また、給食の時間に、JRC委員会が

一生懸命取り組んでいる人を紹介することで、名前を呼ばれた児童に笑顔が見られるようになってきました。同時に、周りの友達を称賛する笑顔に自然となり、よい雰囲気作りにもなっています。このことが毎週全校で積極的に取り組む姿勢につながっています。



みんなで使う本棚の整理

地域と共に～広がる交流の輪～

ながおか し りつひ よししょうがっこう
長岡市立白吉 小学校

白吉小学校では、小規模校ならではのよさを活かし、地域と共に歩む、地域と密着した教育活動を展開しています。

例年、地域のお年寄りとの交流として、鳥越いきいき教室・鳥越末広会・七日市つるかめ会を訪問し、一緒にお手玉などの昔遊びをしたり七夕の飾り付けをしたりしています。お年寄りは児童との交流を楽しみにしており、児童にとっても、お年寄りから様々な知恵や元気をもらい、笑顔で接することの大切さに気付かせる貴重な機会となっています。コロナ禍における今年度は、学校からお年寄りの皆様に元気を届けたいと考え、全校でビデオレターを制作することにしました。

また、3・4年生は、総合学習で身近な環境問題や学校林の素晴らしさを学習しており、地域クリーン作戦や学校林の活用など

を通して、自分たちができる地域貢献のあり方や地域の宝のPR方法を考えています。

自分たちの取組が地域の皆様に喜んでもらえること、地域貢献につながると実感できることが児童にとっての大きな達成感となります。今後も地域とのつながりを大切に活動が続けていきます。



学校林の宝を探ろう～地域の先生と～

主体的なボランティア活動を目指して

ながおか し りつあさひおがちゅうがっこう
長岡市立旭岡 中学校

当校では、例年「長岡火花打上協賛募金」「レッツコレクトベルマーク（ベルマーク収集活動）」「特別養護老人ホーム『まちだ園』への訪問」「TCS（サンキュー・クリーン・スマイル）活動（全校生徒による地域の美化活動）」「小中あいさつ運動」「長岡火花後の清掃ボランティア」「老人福祉施設での演奏会」など様々な活動を実施しています。生徒会（奉仕委員会、環境委員会、執行部）を中心に福祉活動を展開し、主体的にボランティア活動に参加できる場を設定しています。

今年度は、福祉施設の訪問が中止になるなど例年どおりの活動ができませんが、来年に向けて「長岡火花打上協賛募金」や新たな活動として「除草ボランティア活動」など、工夫して活動を行っています。「除草ボランティア活動」では、初めての取組にもか

かわらず、多くの生徒が自主的に参加し、学校周辺の歩道の除草に取り組みました。

活動のほとんどは毎年継続して実施しており、参加した生徒は達成感や自己有用感を感じています。奉仕委員会が中心となり、様々なPR方法を工夫することで、ボランティア活動に関心をもち、自主的に協力する生徒が増えています。



学校周辺の除草ボランティア活動

しゃかいふく し きょうりょく かく してい じぎょう すいしん 社会福祉協力校指定事業の推進にあたって



ながおか し しゃかいふく し きょうぎ かい
長岡市社会福祉協議会
会長 本田 史朗

高齢化が進む中、これからの社会をより良く生きるために、子どもたちが福祉への理解や実践力をさらに高め、個々の発達段階や地域の特性を踏まえた特色ある福祉教育を推進することが大切です。

これまで、当協議会では「長岡市社会福祉協力校指定事業」を通して、各学校の福祉教育の充実や発展を支援してきました。今年度も多くの小・中・特別支援学校・高等学校を社会福祉協力校に指定し、事業を推進していきます。

新型コロナウイルスの影響で福祉施設等の交流が難しい中、各学校におかれましては、創意工夫を凝らした着実な実践を推進していただくとともに、この福祉協力校だより「おもいやり」を活用し、事業の一層の充実を図っていただくをお願いいたします。